

春号
第329号

一粒の麦

社会福祉法人エデンの園

2023年4月22日

ひとつぶのむぎ

ようこそ！新年度！

聖書のことば

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。
しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。（聖書 ヨハネの福音書12章24節）

～変化を楽しむ～

つむぎ 管理者 大山 貴 司

新年度が始まりました。大きな変化があった人やあまりなかった人など様々でしょうが、少なくとも今を生きている私たちは新年度だからとか、そうでないとか関係なく新型コロナウイルスで変化せざるを得なくなったことも多くあるのではないのでしょうか。

変化には、つい尻込みになってしまいがちです。

初めて経験することより、昔から慣れ親しんだことのほうが安心できますから、つい変化を避けがちになります。

いつもと変わらないことには、癒しを感じてほっとします。

しかし、新しいチャンスに出会う機会を失っていることに気づかなければなりません。

世の中は変化の連続です。常に世の中は変化しています。

今この瞬間も、世界のどこかで新しいものが生まれては、古いものが消えています。

変化を恐れていると、世の中の移り変わりについていけません。

変化を拒んで現状維持のまましていると、知らないことが増えます。

わからないことが増えると、ますます変化が怖くなる悪循環に陥り、どんどん世の中のことがわからなくなり、世間から取り残されてしまい、世間から隔離されたような気分になり、悩むことが増えるのです。

古代ギリシャの哲学者”ヘラクレイトス”は「万物流転の法則」の中で次のように主張しています。

宇宙の森羅万象の本質は『流転』である。『流転』せざるものは『流転』のみ。『流転』とは『変化』のことを言います。

つまり「あらゆるものは一分一秒どンドンと変化していく。よいも悪いもなく、た

だ只管変化していく。もし宇宙に変化しないものがあるとするなら、それは『宇宙の森羅万象の本質が流転（変化）』であるという真実のみが変化しない」という教示です。

これによれば『現状維持』とは、あり得ない考え方なのです。現状維持と言っているそばから、新しい現状と向かい合わなくてはならず、その新しい現状に対応していくことによって、否が応でも変化が生じてしまうのです。

そしてなにより、人間の体内を巡る血流は一分一秒休むことなく50兆以上の細胞へと酸素と糖、ビタミン、ホルモンなどを運んでいます。それら50兆の細胞も、一分一秒休むことなく呼吸し、運動し、新陳代謝を繰り返していきます。3ヶ月もすると、50兆の細胞のほとんどは生まれ変わり、つまりはその意味で私たちは別の生き物になってしまうのです。

記憶だって、観念や概念だって、一分一秒の体験を基にどンドンと変わっていきます。記憶が変わるとは、つまり記憶の理解の仕方が変わっていくということもありますが、記憶そのものが部分的に失われたり塗り替えられたりしていくことによって、過去にそこから学んだ悲喜こもごもの学習も失われたり、変化していったりすることです。このことから精神性、志向性も変化していくということになります。

私たち自身が宇宙の森羅万象の一部である以上、変化は避けられない、いや当然のことなのです。

泣いても、笑っても人は刻一刻と変化をしていくのですから、変化することを楽しみに感謝と歓喜しながら、これからも皆様と共に歩んでいきたいと思えます。

今年度もよろしくお願ひします

エデンの園 第1福祉課

●エデンの園

お花見をしました！

春の陽気になり、エデンの園でも桜が満開を迎えました。各エリアではお花見を実施し、桜の下で食べるご飯がとても美味しそうでした。利用者からは「綺麗やね。」「桜が舞っている」「ご飯美味しかった。」と声が聞かれました。

コロナ禍の中、感染した利用者、職員ともに重症化せず、元気に回復し笑顔で新年度を迎える事が出来ました。今年度も、エデンの園入所をよろしくお願ひします。

障がい者福祉施設エデンの園 サブリーダー 河野 仁 美



料理教室

料理教室を行いました。利用者の方も笑顔で楽しい時間を過ごせたようです。

今後ともこういった機会を沢山作っていかれたらと思います♪



●エデンホーム三名

ホームでの食事

エデンホーム三名の食事は、職員で献立を考え、手作りしています。特に夕食は、勤務に就く職員がそれぞれで考えて作っています。職員それぞれで得意料理も違うので、様々な家庭の味が楽しめていると思っています。利用者様からも「芋ご飯が食べたい」「カレーうどんが食べたい」とリクエストの声もよく聞かれます。なるべく、利用者様の声に耳を傾けながら、別の日のメニューとのバランスや栄養などにも配慮し作っています。

「食事・食べる」ことは楽しみの一つとしてとても重要だと考え、利用者様の「美味しい」「また食べたい」という声に職員もやりがいを感じながら日々、献立を考えています。

エデンホーム三名 サブリーダー 蛭原 翼



(それぞれの事業所からのご挨拶)



● エデンの園 ふれあい

「健やか」に「幸せ」でいられる身体作りを目指して!

春風の心地よい季節になりました。新年度を迎えたふれあいでは、健康の維持や身体活動量の増加を目的とし、新たに「健幸体操」を活動に取り入れました。棒やボール等の道具を使用してストレッチを行ったり、音楽に合わせて身体を動かしたりと、様々な工夫を行いながら実施しており、利用者の皆様からも「身体を動かすと気持ちいいですね!」との言葉が多く聞かれています。コロナ禍により屋外での活動が減った今だからこそ、体力や筋力が低下しないよう楽しく身体を動かす機会を設けていきたいと思っております。そして今年度も、「健やか」に「幸せ」でいられる身体作りを目指しながら、利用者の皆様とともに「笑い声」が聞こえるふれあいを作っていきたいと考えます。

エデンの園ふれあい サブリーダー 本嶋 恵理夏



エデンの園 第2福祉課

● 就労継続支援

B型事業所 つむぎ

つむぎミニコンサート(レクレーション)

つむぎでは、今年度2月末で退職された元エデンの園職員、河野真様のご協力いただきミニコンサートを開催いたしました。利用者様も知ってる歌は皆で合唱をしたりと大変楽しんでおられました。

つむぎ 目標工賃達成指導員 小川 真一



● エデンホーム森永(青い鳥・ほのか)

それぞれのホームで

季節もようやく春の陽気となって、暖かくなってきました。エデンホーム森永では、それぞれのホームで休日を使用し、色々なことを日々行っています。これからまた新しい年度が始まります。今年度も色々なことにチャレンジし、日々生きがいをもって楽しみをもって生活して頂けたらと思います。今年度もエデンホーム森永を宜しくお願いします。

エデンホーム森永 世話人兼生活支援員 井戸川 清寿





●放課後等デイサービス 麦わらぼうし

麦わらぼうし春の遠足

3月29日にのじりこぴあで、春の遠足が開催されました！！

昨年度はコロナウイルス流行の為、体育館で行いましたが、感染状況が落ち着いたため久しぶりの外出をして実施する事が出来ました。

のじりこぴあでは、各児童がお金を用意し売店でコーラや、ソフトクリーム等を自分で購入し、「美味しい！」や「久しぶりにみんなで外出出来た！」などと喜びの声が多々聞こえてきました。遊具もたくさんありそれぞれ思い思いに体を沢山動かしていました！！

また、4月で麦わらぼうしは開所して、約7年を迎えます。これからも、地域のニーズに応えながら様々な療育や活動を実施していきます。本年度も麦わらぼうしを宜しくお願い致します！！

放課後デイサービス麦わらぼうし 児童指導員 星崎 悠成



新任 職員 紹介

今年度は12名の新任職員の方を迎えました。今後のご活躍を期待しています♪今後とも宜しくお願い致します。



平群 萌香



田村 由佳



野田 希美



平山 瑞希



福岡 五月



内田 純一



田嶋 智恵



杉田喜美子



黒木 詩音



荒川 英之



橋本 智子



河野優香里



河野 拓也



横山 幸史

小さな気づきから見えてくるもの

WBCが日本代表の全勝優勝で幕を閉じました。大会期間中は、村上選手の準決勝と決勝の打席や決勝の大谷投手とトラウト選手の最終回の最後の対決やダルビッシュ投手が終始チーム内でリーダーシップをとっていた事。これ以外にも数え上げればきりがないくらいの様々な名場面が展開され、様々な感動を生んだ大会となりました。素晴らしい日本代表の活躍で見てたえのある大会だったと思います。

私は50代前半なので、私の学生時代はスポーツ＝野球というような時代でした。私は水泳だったので、いわゆるマイナースポーツで全国大会ですら脚光を浴びる事はありませんでした。最近、メディアも様々なスポーツに目を向けていると思っていたのですが、それでも、今回のWBCの陰で、カーリングの世界選手権やフィギュアスケートの世界選手権が開催されていた事を、皆さんはご存じでしたか？WBCの事は知っているも他の事は意外と知られていません。

しかも世界大会なのにメディアもほとんど取り上げていませんでした。この差を感じた時、福祉で働く私達は、見落としてしまいがちな事柄が日々の業務の中で、たくさんあるのではないかと思い直しました。そして痛感しました。そういう日々の小さな気づきを大切にしていかなければならないのだと。もちろん表面化している課題や目の前の大きな課題には当然向き合えないといけませんが、それ以外の表面化していなかったり、小さな予兆などにも気づける自分でなければと思いますし、些細な事の気づきの積み重ねが利用者の方々のためになるのだと感じています。

土曜学校メッセージ

金桓基牧師（宮崎めぐみ教会）、印慶子牧師（宮崎柳丸キリスト教会）、
荒平大輔牧師・海老原直宏牧師（宮崎北聖書キリスト教会）、
山口英希牧師（宮崎清水教会）浅野謙牧師（きりしまキリスト教会）

Facebook・HPのご案内

社会福祉法人エデンの園では、季刊誌『一粒の麦』だけでなく、FacebookやHPも開設しております。利用者さんの日常やイベントなどが随時配信されていますので、ぜひご覧ください。



寄贈品・寄附金ありがとうございます。(2月～4月)

廣瀬政美様、清松園やわらぎの里様、米吉政博様、田島あけみ様、立山フサ子様、久木はるみ様、JA様、さくら苑様、江藤秀一様、小玉様、宇留島様

編集後記 桜の季節を迎え、いよいよ新年度が始まりました。新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきており、色々と規制されていた部分の緩和も見られてきています。今年度はこれまで規制されて出来なかったことが少しでも行えるように、そして当たり前の生活が送れるようになることを願っております。楽しみを持ちながら利用者様一人ひとりが安心して過ごせる環境を職員一同作っていかれたらと考えています。今年度も社会福祉法人エデンの園を宜しくお願い致します。

エデンホーム三名 保利 翼